

講評

審査委員長 千葉大学教育学部 教授 米田 千恵

今年はおべんとうコンクールが開催できたことを大変うれしく思います。感染症対策として、これまでのグループ調理を1人調理に変更し、二次審査はオンラインでプレゼンテーションのみとなりました。一次審査でレポートを拝見しましたが、どれも素晴らしい「あなたのためのおべんとう」でした。レポートではイラストや写真と説明文を使い分けて調理過程がわかりやすく表現されていましたし、SDGs（持続可能な開発目標）の視点から環境に配慮した調理行動が多く入っていました。また食品の成分についても、よく調べていたと思います。二次審査のプレゼンテーションでは、「あなたのためのおべんとう」を効果的にアピールできていました。友人や先生、家族に支えられて二次審査を迎えた様子がよくわかりました。家族と一緒に食事をする、学校で給食を食べるなど、毎日食べていますが、「あなたのため」の食事であり、「わたしのための」食事です。個人の体調や活動量を考えて毎日の食事を考える力を今回のコンクールを通して身に付けたのではないのでしょうか。真剣に取り組んでいる姿はとても素晴らしかったです。来年1月の全国大会での健闘をお祈りいたします。